



東京YMCA

東日本大震災復興支援活動(石巻・女川地域)

2013年春号

子ども支援活動



市内学童保育支援(2月)
外遊びができない子どもと思いきり遊ぶ



地域のお祭りで子どもブースを担当(10月)
被災後再開した地域復興の支援



定例女川町子ども遊びプログラム(10月)
仮設住宅の子どもたちを遊びを通してケア



仮設住宅団地の子ども支援(11月)
遊び場がない地域で子どもたちとともに



留学生と市内子ども交流会(10月)
アジア各国の遊びの紹介や文化交流



石巻支援センタークリスマス会(12月)
地元の子とも地元の青年ボランティア

震災後、学校や自宅が被災・移転し、遊び場を失った子どもたちはストレスを抱え、落ち着きがなくなったり、身体的接触を求めたりする様子が見られるようになりました。

YMCAでは市内の学童保育で放課後プログラムを担い、外遊びができない環境の子どもたちのストレスケアを行っています。また、週末は仮設住宅に住む子どもたち対象の遊び広場を定期的に行なっています。

YMCAのユースボランティアは、レクリエーション活動も子どもの気持ちを汲み取ることも得意なので、学校・保育現場や保護者にも好評です。

また夏休み中は300人の子どもがYMCAの学習支援プログラムに参加しましたが、今後も継続して行う計画です。

コミュニティー支援活動



仮設住宅にてお茶っこ交流会(2月)
お喋りをする時間も大切な安らぎの一時



市内高齢者施設にて「YMCA歌の広場」
沖縄から駆けつけたボランティアと



仮設住宅健康体操プログラム(10月)
日常生活の身体矯正方法を指導

市内の仮設住宅や高齢者施設を訪問し、交流会やプログラムを行なっています。

移動手段がなく、市街地から遠い仮設住宅に移った高齢者は、孤立しがちです。被災地を訪れるボランティアが減少している今、現地を訪れて交流する事が求められています。

高齢者支援活動



東京から高校生ボランティア(11月)
高校生企画の仮設住宅お祭り広場に300人來場



仮設住宅にてお餅つき大会(12月)
よい新年を迎えられるように



被災地畑作りプロジェクト(11月)
近隣教会と協働で、被災した空き地を畑に

仮設住宅で人が集まれる場としてプログラムを行い、コミュニティー作りのお手伝いをしています。また、近隣の教会、地元のNPO、市民団体とも協力しながら、青年からシニアまで経験豊かなYMCAボランティアが活躍しています。

YMCA石巻支援センターより



スタッフ 伊藤剛士

2012年4月からYMCA石巻支援センターに駐在している伊藤剛士です。YMCA石巻支援センターでは、全国のYMCA関係者を中心としたボランティアと共に活動を続けています。2012年度はのべ約600人のボランティアを受け入れ、約4800人のプログラム参加者がありました。

東京YMCA各センターや各専門学校の多くの青年がボランティアに参加し、石巻市学童保育支援・女川町仮設住宅子ども遊びプログラムといった定例プログラムを持つことができました。また、歌の広場をはじめとするコミュニティー支援活動も定期的に行い、繰り返し訪問している学校や仮設団地では「YMCAの皆さんにまた会いたい」という声を多く頂き、石巻・女川の地にYMCAの活動が定着しつつあるのを感じます。

被災地では「心のケア」が必要と言われますが、そのために一番大切なのは充実した日常生活です。私たちは被災された方々が失ったものの代わりにはなれませんが、顔の見える関わりを続けていく中で、震災後の日常生活のサポートを行なっていきたいと思います。



東京YMCA 東日本大震災復興支援募金 ご協力をお願い

- 未曾有の困難に、祈りをもって立ち向かう -

東京YMCAでは震災発生以降、全国YMCAのネットワークのもと、被災された方々の声に耳を傾けつつ、私たちができることに全力を挙げて取り組んでまいりました。東京YMCAの支援活動にたくさんの方々がご賛同下さいましたこと、心から感謝を申し上げます。震災発生から2年が経つ今なお、困難な状況に置かれている方々がたくさんいらっしゃることに心を痛めます。2012年4月には「YMCA 石巻支援センター」に常駐スタッフを置き、子どもや高齢者を対象とした定例プログラムを実施しています。また企業との協働による福島県内被災者に対するリフレッシュキャンプは33期、1250名を超える方々にご参加いただきました。さらに2013年2月には郡山市内での「屋内子どもプログラム」を実施し、今後も継続する予定です。東京YMCAは今後も中長期にわたり継続した支援活動を行っていく決意のもと、皆様に重ねてのご支援をお願いする次第です。一日も早い被災地の復興のため、皆様の尊いご支援とご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人 東京YMCA
代表理事・総主事

廣田光司

郡山市にて「YMCA 屋内子どもプログラム」を実施

2013年2月24日(日)、郡山ザベリオ学園(福島県郡山市)にて「YMCA 屋内子どもプログラム」を行い、主にリフレッシュキャンプに参加したことのある小学生36名と11名のボランティアリーダーおよびスタッフが参加した。福島県内を会場にした東京YMCAによる最初のプログラムである。郡山や周辺地域ではいまだ十分に屋外で遊ぶことができない状況が続いており、かねてから福島県内での屋内遊びプログラムが望まれていた。子ども期に体を十分に動かさないことの弊害も指摘されている。そのような状況を踏まえ東京YMCAは、子ども達の生活の場である郡山市の屋内施設で、飛び回って遊ぶことのできる「YMCA 屋内子どもプログラム」を今後も継続の予定である。保護者スペースも設け、お茶を飲みながら歓談することができ、さまざまな思いも聞くことができた。



2013年度 東京YMCA 東日本大震災復興支援活動計画

募金目標額 1,000万円

子ども支援

- 福島：リフレッシュキャンプ(山中湖センター他)、こひつじキャンプ(日本基督教団との共催)、屋内子どもプログラム(郡山市内) 等
 - YMCA 石巻支援センター：子ども遊び場、学童保育支援、学習支援、夏休み水泳指導 等
- #### コミュニティ支援(石巻市・女川町)
- 「YMCA 歌の広場」の実施・仮設住宅支援(お茶っこ、餅つき等)
 - 地域のイベントへの協力、教会や現地NPO等との協働

ユース活動支援

- 被災地国際交流プログラムの実施
- ボランティアの受け入れ 等

【募金方法】

- 東京YMCA 窓口への持参
- ゆうちょ銀行への振込み(郵便振替)
振替口座:00120-7-714728 公益財団法人東京ワイエムシイエイ 東京YMCA 会員事務局
- 銀行振り込み
振込先口座

みずほ銀行	神田支店	普通 1677931
三井住友銀行	神田支店	普通 7656469

 名義(共通) 公益財団法人東京ワイエムシイエイ
 「東日本大震災」とお書き添えください。領収書が必要な方は下記までご連絡下さい。
 公益財団法人東京YMCAへのご寄付は寄付金控除(税額控除・所得控除)の対象となります(確定申告が必要です)。

公益財団法人東京YMCA 会員事務局

住所:135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20

TEL03-3615-5568 FAX03-3615-5578 E-mail: kaiin@tokyo.ymca.or.jp